

## サーベイランスデータの活用



2012.5.23  
青森県感染症リスクマネジメント作戦講座  
吉田 眞紀子  
亀田総合病院感染管理室

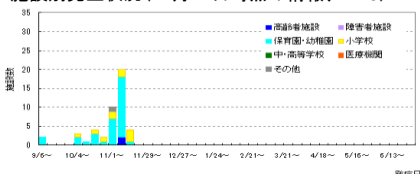
## サーベイランスデータの 病院での活用事例紹介

- ①感染症法に基づく発生動向調査データの活用
- ②エピネットデータの活用
- ③耐性菌サーベイランスデータの活用
- ④インフルエンザサーベイランスデータの活用
- ⑤リスクコミュニケーションツールとしての活用

青森県感染症リスクマネジメント作戦講座 2

### ①感染症法に基づく発生動向調査 感染性胃腸炎データの活用

感染性胃腸炎発生状況、東京都  
施設別発生状況(11月17日時点の情報、n=46)

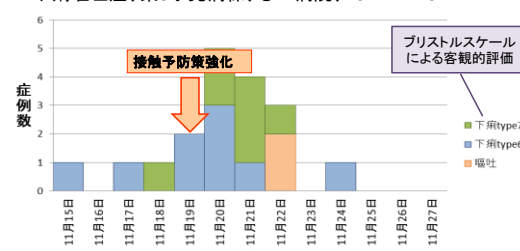


高齢者施設	障害者施設	保育園・幼稚園	小学校	中・高等学校	医療機関	その他	総計
2	0	33	10	0	0	1	46

青森県感染症リスクマネジメント作戦講座  
<http://cdc.tokyo-nippon.go.jp/diseases/gastro/11-12/noro11-12.html>

### ①感染症法に基づく発生動向調査 感染性胃腸炎データの活用

下痢嘔吐症、東3小児病棟、○△病院、2011.12.15-12.27



青森県感染症リスクマネジメント作戦講座 4

### ①感染症法に基づく発生動向調査 「感染症便り」

- 県保健所、地域保健所情報を活用した感染症の情報・対策の提供
- 目的: 受診行動を促す、ワクチン接種推奨、手洗い奨励
- 方法: 発生しているそのときに、発生地域情報を提供
- 「感染症発生!」メール
  - 対象は全職員
- 「感染管理室だより」
  - 毎月発行
  - 対象は、患者、全職員、関連業者

青森県感染症リスクマネジメント作戦講座 5

### 感染管理室だより

**2. 感病症互知 病原体**

感病 (はしか) は年齢にかかわらず、命に関わる重篤な感染症です。  
 年内では年々入ってすでに8例報告されています (12月22日現在)

**どんな病気?** 感病ウイルスはほぼ常に子供の間で流行し、ほとんどの子供は感染しますが、人から人に直接うつす。もしも、免疫がなければ90%が感染します。

**症状は?** 感染した後、10-12日後に発熱・咳・喉痛、高熱と発疹が現れます。初期症状が喉痛に似ていますが、初期段階で人からうつしてしまうことがあります。

**全体的に3割が全発症を免れ、残りの7割は軽症で済みます。重症中に感染すると、気管支炎や肺炎、また、急性脳炎や全脳炎 (SSPE) と呼ばれる中枢神経炎、脳脊髄膜炎の後7-10年で発症し、ほとんどが死に至ります。**

**予防できるの?** 有効な治療方法はなく、予防ワクチンは1回の接種では2-3割の人に十分な免疫が1割程度で免疫がなくなります。そのため、2回接種が推奨されています。

**2. RSウイルス感病 流行中**

2004年以降最多のペースで、全国的にRS(アール・エス)ウイルス感病が流行しています。近年は秋から春にかけて流行が行われますが、今年は少し早いと見られます。愛媛県でも12月後半から増加し始めている。

**どんな病気?** RSウイルスによる乳幼児の代表的な呼吸器感染症で、子供たちの間で急速に流行します。症状は鼻汁・咳・発熱などの風邪症状から重症肺炎まで様々です。赤ちゃんで重症化することもあります。

**どうやって感染するの?** 鼻汁や唾液・咳・痰の飛沫感染が主です。手がウイルスを運んでいること、おもちゃ・玩具・哺乳瓶・おむつ・お風呂の排水などからも感染します。

**気をつけることは?** この感染症は保育園などの施設内で流行しやすく、また、家庭内での感染も発生している子供から家族への感染もみられます。目の保護、食事の前、鼻をかんだ後は、大人も手洗い・消毒が大切です。2歳以上で免疫が十分にない人にも注意が必要です。

青森県感染症リスクマネジメント作戦講座

## ②血液・体液曝露報告 エピネットデータの活用

エピネットとは

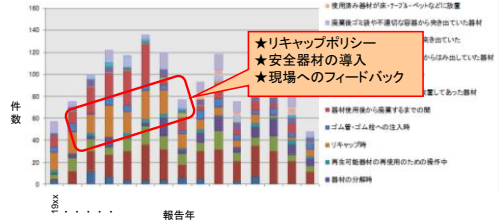
- Exposure Prevention Information Network
- 針刺し・切創などの血液・体液曝露を記録し追求する標準的な方法
- 報告内容: 発生日時・場所、曝露源の患者の感染性、事故の状況など
- データの活用: 全国データ、院内での使用

職業感染制御研究会 <http://jgoicp.umin.ac.jp/index.html>  
青森県感染症リスクマネジメント作戦講座

7

## ②血液・体液曝露報告 エピネットデータの活用

年別針刺し事例報告件数、○△病院、19xx年～20xx年

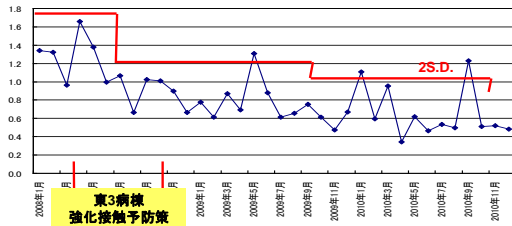


青森県感染症リスクマネジメント作戦講座

8

## ③耐性菌サーベイランス MRSAサーベイランスデータの活用

新規MRSA検出率(罹患密度率)、○△病院、2008-2010



青森県感染症リスクマネジメント作戦講座

9

## ④症候群サーベイランス ILIサーベイランスデータの活用

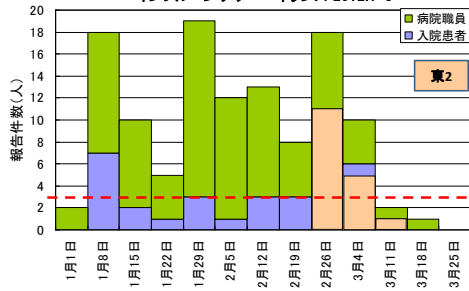
- 目的: 院内感染伝播の予防、早期対策のための早期探知、対策の評価。
- 症例定義: インフルエンザ様症状あるいはキットによる診断
- 実施期間: 1月～3月
- 対象: 入院患者および全職員
- 連絡: 連絡用紙あるいは電話(職員)で感染管理室へ連絡

青森県感染症リスクマネジメント作戦講座

10

## ④症候群サーベイランス ILIサーベイランスデータの活用

インフルエンザサーベイランス 2012.1-3



青森県感染症リスクマネジメント作戦講座

11

## ⑤ILIサーベイランスデータの活用 リスクコミュニケーション

- 普段から、
- 状況を共有する
  - 問題意識を共有する
  - それぞれが対策を実践する
- ↓
- 「インフルエンザ速報」を発行
- 毎日朝8時
  - 全職員に発信
  - メッセージ、発生人数、発生場所

<インフルエンザ速報> >3月13日レポート

まだまだ流行中。  
咳やくしゃみができるときは、サージカルマスク!

[インフルエンザ発生状況]  
3/12 新規患者数: 5人(職員3人、入院患者2人)  
新規曝露者数: 4人  
発生場所: 西2、東6、検査室

3/11  
新規患者数: 1人(職員1人、入院患者0人)  
新規曝露者数: 0人  
発生場所: 薬剤部

\* 新規患者のカウントは報告日です  
感染管理室

青森県感染症リスクマネジメント作戦講座

12